



向陽

## 開校40周年記念

<学校教育目標>

- すすんで**考える子
- すなおで**思いやり**のある子
- ねばり**強く**やりぬく子
- 明るく**たくましい**子

令和3年11月30日 発行

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果・ 分析と今後の対策（6年生～全学年）

さて、本年5月に実施いたしました全国学力・学習状況調査（対象：6学年児童）の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、この調査を「6年生だけの結果」ととらえずに、「全校児童の結果」ととらえています。その上で、児童の学力向上に向けた行動プランを作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んでまいります。加えて、ご家庭と連携して資質・能力の向上に取り組んでいきたいと思っておりますので、是非、ご一読ください。

### 1. 教科に関する調査結果



#### 国語

全国の平均正答率と比較して**ほぼ同様（上位）**の結果でした。

##### 【話すこと・聞くこと】

この領域の問題は3問でした。正答率は全国と比べほぼ同様（上位）の結果でした。問題文をしっかりと読み解答することができた子が多く、無解答の児童もいませんでした。

##### 【書くこと】

この領域の問題は2問でした。正答率は全国と比べ、ほぼ同様（上位）でした。特に「目的や意図に応じて、理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように書く」の記述式の設問は正答率が全国よりかなり高くなりました。しかし、「文章全体の構成や展開を考える」の選択式の設問では、正答率が52.4%と全国より低くなりました。無解答は一人もいませんでした。

##### 【読むこと】

この領域の問題は3問で、正答率は全国と比べて高い結果となりました。3問のうち2問は記述式の設問で「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける」設問では、正答率が全国よりかなり高くなりました。無解答は一人もいませんでした。

##### 【言葉の特徴や使い方に関する事項】

この領域の問題は6問でした。正答率は全国と比べ同様の結果でした。漢字の書き取りの設問で、誤答が見られました。また、「文の中における主語と述語との関係を捉える」の設問では、全国平均正答率を少し下回り、文の構成についての理解に課題が見られました。漢字の書き取りの設問で無解答がありました。

#### 算数

全国の平均正答率と比較して**高い**結果でした。

##### 【数と計算】

この領域の問題は4問でした。全国と比べて高い結果でした。問題文をしっかりと読み解答することができた子が多く、無解答の児童は一人もいませんでした。

##### 【図形】

この領域の問題は3問でした。全国と比べてやや高い結果でした。「複数の図形を組み合わせた

図形の面積について比べることができる」の設問で正答率が全国よりやや低くなりました。無解答は一人もいませんでした。

##### 【測定】

この領域の問題は3問でした。全国と比べてほぼ同様（上位）の結果となりました。問題文をしっかりと読み、解答することができた子が多く、無解答の児童は一人もいませんでした。

##### 【変化と関係】

この領域の問題は3問でした。全国と比べてほぼ同様（上位）の結果でした。「道のりと時間の関係」「速さと道のりをもとに時間を求める」設問はどちらも90%以上の正答率となりました。「速さを求める式と意味」を問う設問では、全国の平均正答率より低い結果となりました。無解答の児童は一人もいませんでした。

##### 【データの活用】

この領域の問題は5問でした。全国と比べて相当高い結果でした。「棒グラフから数量を読み取る」設問は、正答率が100%となり、他の設問についても全て全国より高い結果となりました。「棒グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴を持った項目とその割合を記述する」という記述式の設問でも高い正答率となりました。無解答の児童は一人もいませんでした。

## 対策

### ★学校では今後このような指導を行います★

#### ☆漢字や計算の確実な定着を目指します。

漢字の書き取りに課題が見られました。これからも、授業での取組（漢字スキルやプリント学習等も含む）⇒宿題・自学等での復習⇒ミニテスト・まとめテストといった一連の地道な学習に着実に取り組むことで、「読み・書き・計算」といった基礎・基本の確実な定着を目指していきます。また、今回の調査では、図形問題に難しさを感じている児童がいました。図形を学習する際に、立体図形を実際に持たせて考えさせたり、展開図を見ながら考えさせたりする活動を多く取り入れて、図形問題への苦手意識を少なくしていきたいと考えています。

#### ☆自分の考えを表現する力を伸ばします。

今までは国語も算数も記述式の問題に課題があった中、日常の学習の成果が現れ、記述式の問題も条件に合わせて書くことができる児童が増えています。全国と比べて無解答者がいなかったことも大きな成果です。しかし、問題文が長文になると内容理解にとまどい、聞かれた内容とずれた解答もしばしば見られます。自分の考えを明確にしながら読むということに困難を感じており、「引用」や「字数制限」など示された条件に合わせて文章を要約することに苦手意識がある児童もいます。

学校では、自分の考えを書く時間を保障したり、自分の考えを友だちと交流したりするなど、全員が自分なりの考えを持った上で授業に参加できる手立てをとり、落ち着いて表現できる場面を増やしていきます。そのとき、自分の考えの根拠として、文章から適切に引用することができるよう指導していきます。また、伝える相手を意識して、相手が求めていることは何かを選んだり、より伝わるためにどのような順序で書いたり話したりしたらいいのかを考えられるよう指導していきます。

また、表やグラフといった資料を読み取る力、文章と結び付けて読み取る力については、国語・算数だけでなく、理科や社会でも学習する場面はたくさんあります。授業の中で、今まで以上に大切に取扱い、表やグラフを読み取り、文章をより深く理解できるように指導していきます。

#### ☆習熟度別少人数学習をより充実させていきます。

3年生以上で実施している算数の習熟度別少人数学習において、「どんどんコース」「のびのびコース」「じっくりコース」の3つのコースで学習をすすめています。特に「じっくりコース」では、まず前学年までの復習に取り組むことを本校の約束事としています。これまでの積み残しをできるだけ少なくした上で新しい単元をスタートし、充実した学習にしていきます。また、少人数学習では、単元ごとに指導する教師が変わることがあるので、「どの教師からも同じ言葉（用語）で、同じ手順での学び」を目指していきます。



## ☆学習規律「心がまえ」「物がまえ」

全学級に「心がまえ」「物がまえ」の2枚を掲示し、常に児童の目につくようにしています。掲示しているだけにならないように、向陽台小の共通ルール（当たり前）として、「心がまえ」「物がまえ」を100%定着できるように徹底して行っています。

### 向陽っ子 物がまえ

平成31年度 千歳市立向陽台小学校

**道具袋の中**

- はさみ
- のり
- セロハンテープ
- 色鉛筆

**ふでばこの中**

- 家でけすった えんぴつ 5、6本
- きれいに消える けしゴム 1こ
- よけいなかざりがない じょうぎ 1本
- 大事なところに 赤ペン、青ペン、  
ラインマーカー 1本ずつ

**机の上**

- 教科書は左、ノートは右  
\*左利きの人は、逆。
- 上に、鉛筆、けしゴム、赤ペン、青ペン、じょうぎ  
\*ふでばこは、机の中にしまう。

### 向陽っ子 心がまえ

平成31年度 千歳市立向陽台小学校

**学習中のきまり**

- チャイムが鳴ったら、すぐ自分の席にすわる。
- あてられたら、  
元気よく「はい!」と返事。
- お話は「です」「ます」を  
上手に使う。
- しせいを正しく。  
足はペタン。  
背すじはピン。  
おなかはグー。
- マスを使って、見やすいノート。
- 課題は赤く、まとめは青く、定規でかこむ。
- 席をはなれるときは、イスをしまう。

が身に付いているようです。一方、就寝時刻が不規則な生活を送っている児童も少なからずいることもわかりました。また、携帯、スマホ等の使い方について、家の人と約束したことを守っていない児童もいました。テレビゲーム（携帯ゲーム、スマホゲームも含む）時間は、「平日3時間以上」と答えた児童が47.6%、「1時間以上」と答えた児童が100%となり、下校してからかなりの時間をゲームに費やしていることがわかりました。

1～6学年までの基本的な生活習慣（朝食・睡眠・ゲームなど）の状況については、5月、10月に行った「生活リズムチェック」を確認し、お子さんと一緒によい生活リズムを意識して、カードに記入をお願いいたします。また、結果と考察を、保健便りに掲載予定ですので、ぜひご覧ください。



## 対策2

## ★家庭での学習について★

「家で1時間以上勉強をしている」と答えた児童が平日は52.8%、土日は42.9%と少なく、「全くしない」と答えた児童は平日4.8%、土日は23.8%いました。

また、平日の1日あたりの読書時間が「30分より少ない」と答えた児童が47.6%、そのうち「全く読まない」と答えた児童が33.3%いました。学校でも、図書ボランティアの方々のご協力をいただき、読書を推奨する活動を行っていますが、今後も学校図書等を利用した読書や家読などの大切さを伝え、読書習慣の育成を図っていきたいと考えております。

家庭学習時間としては、**『学年×10分+10分』が目安**とされていますので、しっかり確保できるように学校でも引き続き指導していきます。ご家庭での学習状況の確認や読書の推奨を是非よろしくお願いいたします。

## 2. 質問紙に関する調査結果

- 「算数の勉強が好き」と答えた児童が80.9%いる。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている児童が67%いる。
- 66.7%の児童が、「自分にはよいところがある」と思っている。
- 「人の役に立つ人間になりたい」と答えた児童は100%である。
- 「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童が76%いる。
- ▲普段1時間以上勉強している児童が52.8%にとどまっている。
- ▲1日あたり1時間以上読書をしている児童が28.5%で、全く読まない児童が33.3%となっている。
- ▲「国語の勉強が好き」と答えた児童が33.3%にとどまっている。
- ▲「英語の勉強が好き」と答えた児童が38.1%にとどまっている。



## 対策1

## ★基本的な生活習慣について★

朝食を毎日とるとともに毎日起きる時刻も一定と答えた児童が多く、大変良い生活習慣

これからも、ご家庭と学校が連携し、学力および学習状況の向上を目指していきたいと思っております。

ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。

